

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

JC997 U.S. PRO
09/897136
07/03/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 7月 5日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-204257

出 願 人

Applicant(s):

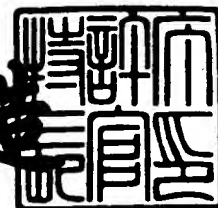
株式会社リコー

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 5月31日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3050640

【書類名】 特許願

【整理番号】 0004614

【提出日】 平成12年 7月 5日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G03G 21/00 370

【発明の名称】 画像形成装置、画像形成方法、およびその方法をコンピュータに実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

【請求項の数】 23

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式会社リコー内

 【氏名】 森田 哲也

【特許出願人】

 【識別番号】 000006747

 【氏名又は名称】 株式会社リコー

【代理人】

 【識別番号】 100089118

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 酒井 宏明

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 036711

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9808514

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像形成装置、画像形成方法、およびその方法をコンピュータに実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 表示部、印刷部および撮像部などのハードウェア資源を有し、プリンタ、コピーまたはファクシミリなどの複合サービスをおこなう画像形成装置において、

前記プリンタ、コピー並びにファクシミリなどの各サービスにかかる画面表示およびキー操作制御をおこなう複数のアプリケーションと、

前記複数のアプリケーションと前記ハードウェア資源との間に介在し、各アプリケーションに対応するサービスを実行する際に必要となる共通的なサービス処理をおこなうプラットフォームと、

を備えたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】 前記プラットフォームは、各アプリケーションに対応するサービスに共通した処理をおこなう共通処理手段と、前記複数のアプリケーションと前記共通処理手段との間に介在し、少なくともアプリケーションに対応するジョブの生成をおこなうアプリサービス手段と、を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】 前記アプリサービス手段は、各アプリケーションに対応するジョブを生成するジョブ生成手段と、各アプリケーションにかかるデータ通信をおこなうデータ通信手段と、を備えたことを特徴とする請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】 前記共通処理手段は、前記表示部上に表示する表示内容を制御する表示制御手段を備えたことを特徴とする請求項 1、2 または 3 に記載の画像形成装置。

【請求項 5】 前記共通処理手段は、所定のネットワークを介して通信をおこなう際の各種プロトコル制御をおこなうネットワーク制御手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 1～4 に記載の画像形成装置。

【請求項 6】 前記共通処理手段は、ファクシミリ通信をおこなう際のコマ

ンドデータの転送制御をおこなうファクシミリ制御手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 ～ 5 に記載の画像形成装置。

【請求項 7】 前記共通処理手段は、前記撮像部による画像の読み込み制御並びに前記印刷部による印刷制御などをおこなうエンジン制御手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 ～ 6 に記載の画像形成装置。

【請求項 8】 前記共通処理手段は、画像メモリの取得または開放若しくは画像データの圧縮または伸張をおこなうメモリ制御手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 ～ 7 に記載の画像形成装置。

【請求項 9】 前記共通処理手段は、前記ハードウェア資源の調停、利用者の制限並びにログ保存などのシステム制御をおこなうシステム制御手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 ～ 8 に記載の画像形成装置。

【請求項 1 0】 前記共通処理手段は、前記ハードウェア資源を管理する資源管理手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 ～ 9 に記載の画像形成装置。

【請求項 1 1】 前記プラットフォームは、汎用オペレーティングシステムをさらに備え、前記表示制御手段、ネットワーク制御手段、ファクシミリ制御手段、エンジン制御手段、メモリ制御手段、システム制御手段または資源管理手段は、前記汎用オペレーティングシステムを介して前記ハードウェア資源を制御することを特徴とする請求項 1 ～ 1 0 に記載の画像形成装置。

【請求項 1 2】 表示部、印刷部および撮像部などのハードウェア資源を有し、プリンタ、コピーまたはファクシミリなどの複合サービスをおこなう画像形成方法において、

前記プリンタ、コピー並びにファクシミリなどの各サービスににかかる画面表示およびキー操作制御をおこなう複数のアプリケーションのいずれかを起動する起動工程と、

前記複数のアプリケーションと前記ハードウェア資源との間に介在するプラットフォームが、各アプリケーションに対応するサービスを実行する際に必要となる共通的なサービス処理をおこなう共通サービス工程と、

を含んだことを特徴とする画像形成方法。

【請求項 13】 前記プラットフォームは、少なくともアプリケーションに対応するジョブの生成をおこなうアプリサービス工程と、前記アプリサービス工程で生成されたジョブごとに各アプリケーションに対応するサービスに共通した処理をおこなう共通処理工程と、を含んだことを特徴とする請求項 12 に記載の画像形成方法。

【請求項 14】 前記アプリサービス工程は、各アプリケーションに対応するジョブを生成するジョブ生成工程と、各アプリケーションにかかるデータ通信をおこなうデータ通信工程と、を含んだことを特徴とする請求項 13 に記載の画像形成方法。

【請求項 15】 前記共通処理工程は、前記表示部上に表示する表示内容を制御する表示制御工程を含んだことを特徴とする請求項 12、13 または 14 に記載の画像形成方法。

【請求項 16】 前記共通処理工程は、所定のネットワークを介して通信をおこなう際の各種プロトコル制御をおこなうネットワーク制御工程をさらに含んだことを特徴とする請求項 12～15 に記載の画像形成方法。

【請求項 17】 前記共通処理工程は、ファクシミリ通信をおこなう際のコマンドデータの転送制御をおこなうファクシミリ制御工程をさらに含んだことを特徴とする請求項 12～16 に記載の画像形成方法。

【請求項 18】 前記共通処理工程は、前記撮像部による画像の読み込み制御並びに前記印刷部による印刷制御などをおこなうエンジン制御工程をさらに含んだことを特徴とする請求項 12～17 に記載の画像形成方法。

【請求項 19】 前記共通処理工程は、画像メモリの取得または開放若しくは画像データの圧縮または伸張をおこなうメモリ制御工程をさらに含んだことを特徴とする請求項 12～18 に記載の画像形成方法。

【請求項 20】 前記共通処理工程は、前記ハードウェア資源の調停、利用者の制限並びにログ保存などのシステム制御をおこなうシステム制御工程をさらに含んだことを特徴とする請求項 12～19 に記載の画像形成方法。

【請求項 21】 前記共通処理工程は、前記ハードウェア資源を管理する資源管理工程をさらに含んだことを特徴とする請求項 12～20 に記載の画像形成

方法。

【請求項 2 2】 前記共通処理工程は、汎用オペレーティングシステムをさらに含み、前記表示制御工程、ネットワーク制御工程、ファクシミリ制御工程、エンジン制御工程、メモリ制御工程、システム制御工程または資源管理工程による処理は、前記汎用オペレーティングシステムを介して前記ハードウェア資源を制御することを特徴とする請求項 1 2 ～ 2 1 に記載の画像形成方法。

【請求項 2 3】 前記請求項 1 2 ～ 2 2 に記載された方法をコンピュータに実行させるプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

この発明は、表示部、印刷部および撮像部などのハードウェア資源を有し、プリンタ、コピーまたはファクシミリなどの複合サービスをおこなう画像形成装置、画像形成方法、およびその方法をコンピュータに実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関し、特に、プリンタ、コピーおよびファクシミリ装置などに対応する各ソフトウェア（アプリケーション）を効率良く開発するとともに装置全体としての生産性を高めることができる画像形成装置、画像形成方法、および記録媒体に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来、プリンタ、コピー、ファクシミリは、それぞれ別筐体として配設されるのが一般的であったが、最近では、これら各装置の機能を 1 つの筐体内に収納した画像形成装置（以下「複合機」と言う）が知られている。

【0 0 0 3】

この複合機は、1 つの筐体内に表示部、印刷部および撮像部などを設けるとともに、プリンタ、コピーおよびファクシミリ装置にそれぞれ対応する 3 種類のソフトウェアを設け、ソフトウェアの切り替えによって、該装置をプリンタ、コピーまたはファクシミリ装置として動作させるものである。

【 0 0 0 4 】

かかる複合機を用いることにより、室内にプリンタ、コピーおよびファクシミリをそれぞれ別個に設ける必要がなくなるので、トータルな低コスト化および省スペース化を図ることができる。

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、かかる複合機内にプリンタ、コピーおよびファクシミリ装置に対応するソフトウェア（専用OSを含む）をそれぞれ別個に設けることとしたのでは、各ソフトウェアの開発に多大の時間を要する。

【 0 0 0 6 】

すなわち、かかる従来の複合機は、単に筐体を1つにまとめたものにすぎず、従来と同様に、プリンタ用ソフトウェア、コピー用ソフトウェアおよびファクシミリ用ソフトウェアを別個に開発せねばならない。

【 0 0 0 7 】

もともと、プリンタのソフトウェア、コピーのソフトウェアおよびファクシミリのソフトウェアは、同種の画像を取り扱う性質上様々な面でアルゴリズムが共用できるため、ソフトウェアを別個に作成していたのでは、メモリ容量の累増などを招く問題もある。

【 0 0 0 8 】

このため最近では、3種類の専用OSを別個に設けた場合の重複処理を省くために、UNIXなどの汎用OSをかかる複合機に採用されることも多いが、単にOS部分を共通化するだけでは、ソフトウェアの開発効率をさほど高めることはできない。

【 0 0 0 9 】

なお、特公平7-79368号公報には、サーバダイアログおよび分散型アプリケーションなどからなるアプリケーション層と、フォントマネージャーやネットワークマネージャーなどからなる機能層と、オペレーティングシステムなどからなる制御層とで文書サービスアーキテクチャーを階層化する電子印刷システムが開示されているが、この従来技術のものは、フォントなどの一部の機能を共通

化したものにすぎず、各ソフトウェアの開発効率を高めるものではない。

【0010】

この発明は、上述した従来技術による問題点を解消するためになされたものであり、プリンタ、コピーおよびファクシミリ装置などに対応する各ソフトウェア（アプリケーション）を効率良く開発するとともに装置全体としての生産性を高めることができる画像形成装置、画像形成方法、およびその方法をコンピュータに実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供することを目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】

上述した課題を解決し、目的を達成するため、請求項1の発明に係る画像形成装置は、表示部、印刷部および撮像部などのハードウェア資源を有し、プリンタ、コピーまたはファクシミリなどの複合サービスをおこなう画像形成装置において、前記プリンタ、コピー並びにファクシミリなどの各サービスにかかる画面表示およびキー操作制御をおこなう複数のアプリケーションと、前記複数のアプリケーションと前記ハードウェア資源との間に介在し、各アプリケーションに対応するサービスを実行する際に必要となる共通的なサービス処理をおこなうプラットフォームと、を備えたことを特徴とする。

【0012】

この請求項1の発明によれば、プリンタ、コピー並びにファクシミリなどの各サービスにかかる画面表示およびキー操作制御をおこなう複数のアプリケーションのいずれかを起動し、複数のアプリケーションとハードウェア資源との間に介在するプラットフォームが、各アプリケーションに対応するサービスを実行する際に必要となる共通的なサービス処理をおこなうこととしたので、各サービスのアプリケーションを作成する場合には、画面表示制御やキー操作の部分を作成すれば足りる。

【0013】

また、請求項2の発明に係る画像形成装置は、請求項1の発明において、前記プラットフォームは、各アプリケーションに対応するサービスに共通した処理をお

こなう共通処理手段と、前記複数のアプリケーションと前記共通処理手段との間に介在し、少なくともアプリケーションに対応するジョブの生成をおこなうアプリサービス手段と、を備えたことを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

この請求項 2 の発明によれば、少なくともアプリケーションに対応するジョブの生成をおこなった後に、生成されたジョブごとに各アプリケーションに対応するサービスに共通した処理をおこなうこととしたので、ジョブの生成に至るまでを共通処理化することができる。

【 0 0 1 5 】

また、請求項 3 の発明に係る画像形成装置は、請求項 2 の発明において、前記アプリサービス手段は、各アプリケーションに対応するジョブを生成するジョブ生成手段と、各アプリケーションにかかるデータ通信をおこなうデータ通信手段と、を備えたことを特徴とする。

【 0 0 1 6 】

この請求項 3 の発明によれば、アプリサービスとして、各アプリケーションに対応するジョブを生成するとともに、各アプリケーションにかかるデータ通信をおこなうこととしたので、本来アプリケーションがおこなうべきジョブの生成およびデータ通信を共通処理化することができる。

【 0 0 1 7 】

また、請求項 4 の発明に係る画像形成装置は、請求項 1 ～ 3 の発明において、前記共通処理手段は、前記表示部上に表示する表示内容を制御する表示制御手段を備えたことを特徴とする。

【 0 0 1 8 】

この請求項 4 の発明によれば、表示部上に表示する表示内容を制御する表示制御手段を共通処理手段内に設けることとしたので、表示内容の制御を共通処理化することができる。

【 0 0 1 9 】

また、請求項 5 の発明に係る画像形成装置は、請求項 1 ～ 4 の発明において、前記共通処理手段は、所定のネットワークを介して通信をおこなう際の各種プロ

トコル制御をおこなうネットワーク制御手段をさらに備えたことを特徴とする。

【 0 0 2 0 】

この請求項 5 の発明によれば、所定のネットワークを介して通信をおこなう際の各種プロトコル制御をおこなうネットワーク制御手段を共通処理手段内に設けることとしたので、ネットワーク制御を共通処理化することができる。

【 0 0 2 1 】

また、請求項 6 の発明に係る画像形成装置は、請求項 1 ～ 5 の発明において、前記共通処理手段は、ファクシミリ通信をおこなう際のコマンドデータの転送制御をおこなうファクシミリ制御手段をさらに備えたことを特徴とする。

【 0 0 2 2 】

この請求項 6 の発明によれば、ファクシミリ通信をおこなう際のコマンドデータの転送制御をおこなうファクシミリ制御手段を共通処理手段内に設けることとしたので、ファクシミリ制御を共通処理化することができる。

【 0 0 2 3 】

また、請求項 7 の発明に係る画像形成装置は、請求項 1 ～ 6 の発明において、前記共通処理手段は、前記撮像部による画像の読み込み制御並びに前記印刷部による印刷制御などをおこなうエンジン制御手段をさらに備えたことを特徴とする。

【 0 0 2 4 】

この請求項 7 の発明によれば、撮像部による画像の読み込み制御並びに印刷部による印刷制御などをおこなうエンジン制御手段を共通処理手段内に設けることとしたので、エンジン制御を共通処理化することができる。

【 0 0 2 5 】

また、請求項 8 の発明に係る画像形成装置は、請求項 1 ～ 7 の発明において、前記共通処理手段は、画像メモリの取得または開放若しくは画像データの圧縮または伸張をおこなうメモリ制御手段をさらに備えたことを特徴とする。

【 0 0 2 6 】

この請求項 8 の発明によれば、画像メモリの取得または開放若しくは画像データの圧縮または伸張をおこなうメモリ制御手段を共通処理手段内に設けることと

したので、メモリ制御を共通処理化することができる。

【 0 0 2 7 】

また、請求項 9 の発明に係る画像形成装置は、請求項 1 ～ 8 の発明において、前記共通処理手段は、前記ハードウェア資源の調停、利用者の制限並びにログ保存などのシステム制御をおこなうシステム制御手段をさらに備えたことを特徴とする。

【 0 0 2 8 】

この請求項 9 の発明によれば、ハードウェア資源の調停、利用者の制限並びにログ保存などのシステム制御をおこなうシステム制御手段を共通処理手段内に設けることとしたので、システム制御を共通処理化することができる。

【 0 0 2 9 】

また、請求項 1 0 の発明に係る画像形成装置は、請求項 1 ～ 9 の発明において、前記共通処理手段は、前記ハードウェア資源を管理する資源管理手段をさらに備えたことを特徴とする。

【 0 0 3 0 】

この請求項 1 0 の発明によれば、ハードウェア資源を管理する資源管理手段を共通処理手段内に設けることとしたので、資源管理を共通処理化することができる。

【 0 0 3 1 】

また、請求項 1 1 の発明に係る画像形成装置は、請求項 1 ～ 1 0 の発明において、前記プラットフォームは、汎用オペレーティングシステムをさらに備え、前記表示制御手段、ネットワーク制御手段、ファクシミリ制御手段、エンジン制御手段、メモリ制御手段、システム制御手段または資源管理手段は、前記汎用オペレーティングシステムを介して前記ハードウェア資源を制御することを特徴とする。

【 0 0 3 2 】

この請求項 1 1 の発明によれば、汎用オペレーティングシステムをプラットフォーム内に設け、この汎用オペレーティングシステムを介して表示制御手段、ネットワーク制御手段、ファクシミリ制御手段、エンジン制御手段、メモリ制御手段

、システム制御手段または資源管理手段が、ハードウェア資源を制御することとしたので、汎用オペレーティングシステム下でのプロセス実行により表示制御手段、ネットワーク制御手段、ファクシミリ制御手段、エンジン制御手段、メモリ制御手段、システム制御手段または資源管理手段を実現することができる。

【 0 0 3 3 】

また、請求項 1 2 の発明に係る画像形成方法は、表示部、印刷部および撮像部などのハードウェア資源を有し、プリンタ、コピーまたはファクシミリなどの複合サービスをおこなう画像形成方法において、前記プリンタ、コピー並びにファクシミリなどの各サービスににかかる画面表示およびキー操作制御をおこなう複数のアプリケーションのいずれかを起動する起動工程と、前記複数のアプリケーションと前記ハードウェア資源との間に介在するプラットフォームが、各アプリケーションに対応するサービスを実行する際に必要となる共通的なサービス処理をおこなう共通サービス工程と、を含んだことを特徴とする。

【 0 0 3 4 】

この請求項 1 2 の発明によれば、プリンタ、コピー並びにファクシミリなどの各サービスにかかる画面表示およびキー操作制御をおこなう複数のアプリケーションのいずれかを起動し、複数のアプリケーションとハードウェア資源との間に介在するプラットフォームが、各アプリケーションに対応するサービスを実行する際に必要となる共通的なサービス処理をおこなうこととしたので、各サービスのアプリケーションを作成する場合には、画面表示制御やキー操作の部分を作成すれば足りる。

【 0 0 3 5 】

また、請求項 1 3 の発明に係る画像形成方法は、請求項 1 2 の発明において、前記プラットフォームは、少なくともアプリケーションに対応するジョブの生成をおこなうアプリサービス工程と、前記アプリサービス工程で生成されたジョブごとに各アプリケーションに対応するサービスに共通した処理をおこなう共通処理工程と、を含んだことを特徴とする。

【 0 0 3 6 】

この請求項 1 3 の発明によれば、少なくともアプリケーションに対応するジョ

ブの生成をおこなった後に、生成されたジョブごとに各アプリケーションに対応するサービスに共通した処理をおこなうこととしたので、ジョブの生成に至るまでを共通処理化することができる。

【 0 0 3 7 】

また、請求項 1 4 の発明に係る画像形成方法は、請求項 1 4 の発明において、前記アプリサービス工程は、各アプリケーションに対応するジョブを生成するジョブ生成工程と、各アプリケーションにかかるデータ通信をおこなうデータ通信工程と、を含んだことを特徴とする。

【 0 0 3 8 】

この請求項 1 4 の発明によれば、アプリサービスとして、各アプリケーションに対応するジョブを生成するとともに、各アプリケーションにかかるデータ通信をおこなうこととしたので、本来アプリケーションがおこなうべきジョブの生成およびデータ通信を共通処理化することができる。

【 0 0 3 9 】

また、請求項 1 5 の発明に係る画像形成方法は、請求項 1 2 ～ 1 4 の発明において、前記共通処理工程は、前記表示部上に表示する表示内容を制御する表示制御工程を含んだことを特徴とする。

【 0 0 4 0 】

この請求項 1 5 の発明によれば、表示部上に表示する表示内容を制御する表示制御を共通処理の一部とすることとしたので、表示内容の制御を共通処理化することができる。

【 0 0 4 1 】

また、請求項 1 6 の発明に係る画像形成方法は、請求項 1 2 ～ 1 5 の発明において、前記共通処理工程は、所定のネットワークを介して通信をおこなう際の各種プロトコル制御をおこなうネットワーク制御工程をさらに含んだことを特徴とする。

【 0 0 4 2 】

この請求項 1 6 の発明によれば、所定のネットワークを介して通信をおこなう際の各種プロトコル制御をおこなうネットワーク制御を共通処理の一部とするこ

ととしたので、ネットワーク制御を共通処理化することができる。

【 0 0 4 3 】

また、請求項 1 7 の発明に係る画像形成方法は、請求項 1 2 ～ 1 6 の発明において、前記共通処理工程は、ファクシミリ通信をおこなう際のコマンドデータの転送制御をおこなうファクシミリ制御工程をさらに含んだことを特徴とする。

【 0 0 4 4 】

この請求項 1 7 の発明によれば、ファクシミリ通信をおこなう際のコマンドデータの転送制御をおこなうファクシミリ制御を共通処理の一部とすることとしたので、ファクシミリ制御を共通処理化することができる。

【 0 0 4 5 】

また、請求項 1 8 の発明に係る画像形成方法は、請求項 1 2 ～ 1 7 の発明において、前記共通処理工程は、前記撮像部による画像の読み込み制御並びに前記印刷部による印刷制御などをおこなうエンジン制御工程をさらに含んだことを特徴とする。

【 0 0 4 6 】

この請求項 1 8 の発明によれば、撮像部による画像の読み込み制御並びに印刷部による印刷制御などをおこなうエンジン制御を共通処理の一部とすることとしたので、エンジン制御を共通処理化することができる。

【 0 0 4 7 】

また、請求項 1 9 の発明に係る画像形成方法は、請求項 1 2 ～ 1 8 の発明において、前記共通処理工程は、画像メモリの取得または開放若しくは画像データの圧縮または伸張をおこなうメモリ制御工程をさらに含んだことを特徴とする。

【 0 0 4 8 】

この請求項 1 9 の発明によれば、画像メモリの取得または開放若しくは画像データの圧縮または伸張をおこなうメモリ制御を共通処理の一部とすることとしたので、メモリ制御を共通処理化することができる。

【 0 0 4 9 】

また、請求項 2 0 の発明に係る画像形成方法は、請求項 1 2 ～ 1 9 の発明において、前記共通処理工程は、前記ハードウェア資源の調停、利用者の制限並びに

ログ保存などのシステム制御をおこなうシステム制御工程をさらに含んだことを特徴とする。

【 0 0 5 0 】

この請求項 2 0 の発明によれば、ハードウェア資源の調停、利用者の制限並びにログ保存などのシステム制御を共通処理の一部とすることとしたので、システム制御を共通処理化することができる。

【 0 0 5 1 】

また、請求項 2 1 の発明に係る画像形成方法は、請求項 1 2 ～ 2 0 の発明において、前記共通処理工程は、前記ハードウェア資源を管理する資源管理工程をさらに含んだことを特徴とする。

【 0 0 5 2 】

この請求項 2 1 の発明によれば、ハードウェア資源を管理する資源管理を共通処理の一部とすることとしたので、資源管理を共通処理化することができる。

【 0 0 5 3 】

また、請求項 2 2 の発明に係る画像形成方法は、請求項 1 2 ～ 2 1 の発明において、前記共通処理工程は、汎用オペレーティングシステムをさらに含み、前記表示制御工程、ネットワーク制御工程、ファクシミリ制御工程、エンジン制御工程、メモリ制御工程、システム制御工程または資源管理工程による処理は、前記汎用オペレーティングシステムを介して前記ハードウェア資源を制御することを特徴とする。

【 0 0 5 4 】

この請求項 2 2 の発明によれば、汎用オペレーティングシステムを共通処理内に設け、この汎用オペレーティングシステムを介して表示制御、ネットワーク制御、ファクシミリ制御、エンジン制御、メモリ制御、システム制御または資源管理が、ハードウェア資源を制御することとしたので、汎用オペレーティングシステム下でのプロセス実行により表示制御、ネットワーク制御、ファクシミリ制御、エンジン制御、メモリ制御、システム制御または資源管理を実現することができる。

【 0 0 5 5 】

また、請求項 2 3 の発明に係る記録媒体は、請求項 1 2 ～ 2 2 のいずれか一つに記載された方法をコンピュータに実行させるプログラムを記録したことで、そのプログラムを機械読み取り可能となり、これによって、請求項 1 2 ～ 2 2 のいずれか一つの動作をコンピュータによって実現することができる。

【 0 0 5 6 】

【発明の実施の形態】

以下に添付図面を参照して、この発明に係る画像形成装置、画像形成方法、およびその方法をコンピュータに実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体の好適な実施の形態を詳細に説明する。なお、本実施の形態では、本発明を複合機に適用した場合を示すこととする。

【 0 0 5 7 】

まず最初に、本実施の形態に係る複合機概念について図 1 および図 2 を用いて説明する。図 1 は、本実施の形態に係る複合機概念を説明するための説明図であり、図 2 は、図 1 に示したプラットフォームを説明するための説明図である。

【 0 0 5 8 】

図 1 (a) に示すように、従来のプリンタ 1 0 0 は、描画・印刷機能並びにエンジン制御をおこなう専用 OS 1 0 1 上にプリンタ用アプリケーション（プリンタアプリ）が搭載されていた。また、ファクシミリやコピーについても別個の筐体で構成されていた。また、これらを 1 つの筐体上にまとめる複合機も登場してきたが、単にプリンタ、コピーおよびファクシミリの機能を独立に設けたのでは効率的ではない。

【 0 0 5 9 】

このため、同図 (b) に示すように、従来の専用 OS 1 0 1 を汎用 OS 部分 1 1 1 とエンジン制御部分 1 1 2 で形成し、これらをエンジンインターフェース (I / F) で連結するとともに、該汎用 OS 1 1 1 上にプリンタアプリ 1 1 3、コピーアプリ 1 1 4 および各種アプリ 1 1 5 を搭載する装置構成が採用されてきた。

【 0 0 6 0 】

かかる複合機 1 1 0 では、たとえば UNIX などの汎用 OS を採用しているの

で、プリンタアプリ 113、コピーアプリ 114、各種アプリ 115 をそれぞれプロセスとして簡単に並列実行することができる。

【0061】

しかしながら、この複合機 110 についても、プリンタアプリ 113、コピーアプリ 114、各種アプリ 115 が、それぞれ独立に開発される必要があるので、各ソフトウェアの開発負担をさほど軽減できるわけではない。

【0062】

そこで、本実施の形態に係る複合機 120 では、図 1 (c) に示すように、各アプリケーションの共通部分を共通システムサービス 121 a およびアプリサービス 121 b として括りだし、この共通システムサービス 121 a、アプリサービス 121 b および汎用 OS 111 によりプラットフォーム 122 を形成する。

【0063】

特に、この複合機 120 では、アプリサービス 121 b が各アプリ 123 ~ 125 と共通システムサービス 121 a との間に介在するよう構成することにより、本来各アプリ 123 ~ 125 がそれぞれ独立しておこなうべきジョブの生成やデータ通信をアプリサービス 121 b が一括しておこなうこととしている。このため、このプラットフォーム 122 上に搭載するプリンタアプリ 123、コピーアプリ 124 および各種アプリ 125 の開発労力軽減並びにアプリケーションのスリム化を図ることができる。

【0064】

たとえば、図 2 (a) に示すように、コピーアプリが 130,000 ステップ、ファックスアプリが 125,000 ステップ、プリンタアプリが 100,000 ステップのコードからなる場合に、これらを別個のアプリケーションとして形成すると、合計で $130,000 + 125,000 + 100,000 = 355,000$ ステップのコードを要する。

【0065】

ここで、各アプリケーションに共通に利用できる部分が 180,000 ステップであるならば、この部分をプラットフォームとして集約することにより、生産性が向上する。

【0066】

たとえば、同図（b）に示すように、コピーアプリが40,000ステップ、ファックスアプリが100,000ステップ、プリンタアプリが35,000ステップ、プラットフォームが90,000ステップのコードで形成できるとすると、合計で $40,000 + 100,000 + 35,000 + 90,000 = 265,000$ ステップとなり、装置全体の生産性が134%（ $355,000 / 265,000$ ）向上する。

【 0 0 6 7 】

また、プラットフォーム部分を考えると、生産性が200%（ $180,000 / 90,000$ ）向上し、さらにコピーアプリ、ファックスアプリ、プリンタアプリの開発効率についても大幅に向上する。

【 0 0 6 8 】

このように、本実施の形態に係る複合機120では、アプリサービス121b、共通システムサービス121aおよび汎用OS111からなるプラットフォーム122上に、プリンタアプリ123、コピーアプリ124および各種アプリ125を搭載するよう構成しているので、装置全体の生産性を高めるとともに、各アプリケーションの開発効率を高めることができる。

【 0 0 6 9 】

次に、図1に示した複合機120のソフトウェア構成についてさらに詳細に説明する。図3は、図1に示した複合機120の具体的なソフトウェア構成を示す構成図である。

【 0 0 7 0 】

同図に示すように、この複合機120は、白黒ラインプリンタ（B&W LP）301、カラーラインプリンタ（Color LP）302、その他ハードウェアリソース303などを有するとともに、ソフトウェア群310は、プラットフォーム320およびアプリケーション340からなる。

【 0 0 7 1 】

プラットフォーム320は、汎用OS321と、共通システムサービス330と、アプリサービス329とで形成される。汎用OS321は、UNIXなどの汎用オペレーティングシステムであり、プラットフォーム320並びにアプリケーション340の各ソフトウェアをそれぞれプロセスとして並列実行する。オープン

ソースのUNIXを用いることにより、プログラムの安全性を確保できるとともに、ネットワーク対応可能となり、ソースコードの入手も容易となる。さらに、OS、TCP/IPのロイヤリティが不要であり、アウトソーシングも容易となる。

【0072】

共通システムサービス330は、アプリケーション340に対して基本的な共通サービスを提供するものであり、SCS (System Control Service) 322を有するSRM (System Resource Manager) 323と、ECS (Engine Control Service) 324と、MCS (Memory Control Service) 325と、OCS (Operation panel Control Service) 326と、FCS (FAX Control Service) 327と、NCS (Network Control Service) 328とからなる。

【0073】

SRM323は、SCS322とともにシステムの制御およびリソースの管理をおこなうものであり、スキャナ部やプリンタ部などのエンジン、メモリ、HDDファイル、ホストI/O（セントロI/F、ネットワークI/F、IEEE1394I/F、RS232CI/Fなど）のハードウェア資源を利用する上位層からの要求にしたがって調停をおこない、実行制御する。

【0074】

具体的には、このSRM323は、要求されたハードウェア資源が利用可能であるかどうか（他の要求により利用されていないかどうか）を判断し、利用可能であれば要求されたハードウェア資源が利用可能である旨を上位層に伝える。また、上位層からの要求に対してハードウェア資源の利用スケジューリングをおこない、要求内容（たとえば、プリンタエンジンによる紙搬送と作像動作、メモリ確保、ファイル生成など）を直接実施するようにしてもよい。

【0075】

SCS322は、（１）アプリ管理、（２）操作部制御、（３）システム画面表示（ジョブリスト画面、カウンタ表示画面など）、（４）LED表示、（５）リソース管理、（６）割り込みアプリ制御をおこなう。具体的には、（１）アプリ管理では、アプリの登録と、その情報を他のアプリに通知する処理をおこなう

。登録されたアプリに対しては、システムの設定やアプリからの要求設定に応じてエンジン状態を通知する。また、登録済みのアプリに対しては、電力モード移行の問い合わせ、割り込みモードなど、システムの状態遷移のための可否問い合わせをおこなう。

【 0 0 7 6 】

また、（２）操作部制御では、アプリの操作部使用権の排他制御をおこなう。そして、操作部の使用権を持つアプリへ操作部ドライバ（OCS）からのキー情報を排他的に通知する。このキー情報は、アプリ切替中などのシステムの状態遷移に応じて一時的に通知を停止するマスク制御をおこなう。

【 0 0 7 7 】

また、（３）システム画面表示では、操作部使用権を持つアプリからの要求内容に応じて、エンジン状態に対応する警告画面の表示をおこなう。これらのなかには、利用者制限画面などアプリの状態に応じて警告表示をオン／オフするものもある。エンジン状態以外では、ジョブの予約・実行状況を表示するためのジョブリスト画面、トータルカウンタ類を表示するためのカウンタ画面、CSSの通報中を示す画面の表示制御をおこなう。これらのシステム画面表示に関しては、アプリへ操作部使用権の解放を要求せず、アプリ画面を覆うシステム画面として描画をおこなう。

【 0 0 7 8 】

また、（４）LED表示では、警告LED、アプリキーなどのシステムLEDの表示制御をおこなう。アプリ固有のLEDについては、アプリが直接表示用ドライバを使用して制御する。

【 0 0 7 9 】

また、（５）リソース管理では、アプリ（ECS）がジョブを実行するにあたって、排他しなければならないエンジンリソース（スキャナ、ステーブルなど）の排他制御のためのサービスをおこない、（６）割り込みアプリ制御では、特定のアプリを優先動作せさるための制御・サービスをおこなう。

【 0 0 8 0 】

ECS 3 2 4 は、白黒ラインプリンタ（B&W LP）3 0 1、カラーラインプリン

タ (Color LP) 3 0 2、その他ハードウェアリソース 3 0 3 などのエンジンを制御するものであり、画像読み込みと印刷動作、状態通知、ジャムリカバリなどをおこなう。

【 0 0 8 1 】

具体的には、アプリケーション 3 4 0 から受け取ったジョブモードの指定にしたがい、印刷要求を S R M 3 2 3 に順次発行していくことで、一連のコピー／スキャン／印刷動作を実現する。この E C S 3 2 4 が取り扱う対象のジョブは、画像入力デバイスにスキャナ (SCANNER) が指定されているか、または、画像出力デバイスにプロッタ (PLOTTER) が指定されているものとする。

【 0 0 8 2 】

たとえば、コピー動作の場合には「SCANNER → PLOTTER」と指定され、ファイル蓄積の場合には「SCANNER → MEMORY」と指定され、ファクシミリ送信の場合には「SCANNER → FAX__IN」と指定される。また、蓄積ファイル印刷またはプリンタアプリ 3 1 1 からの印刷の場合には「MEMORY → PLOTTER」と指定され、ファクシミリ受信の場合には「FAX__OUT → PLOTTER」と指定される。

【 0 0 8 3 】

なお、ジョブの定義はアプリケーションによって異なるが、ここでは利用者が取り扱う 1 セットの画像群に対する処理動作を 1 ジョブと定義する。たとえば、コピーの A D F (Automatic Document Feeder) モードの場合は、原稿台に置かれた 1 セットの原稿を読み取る動作が 1 ジョブとなり、圧板モードは最終原稿が確定するまでの読み取り動作が 1 ジョブとなる。また、コピーアプリ 3 1 2 の場合には、一束の原稿をコピーする動作が 1 ジョブとなり、ファックスアプリ 3 1 3 の場合には、1 文書の送信動作または 1 文書の受信動作が 1 ジョブとなり、プリンタアプリの場合には、1 文書の印刷動作が 1 ジョブとなる。

【 0 0 8 4 】

M C S 3 2 5 は、メモリ制御をおこなうものであり、具体的には、画像メモリの取得および開放、ハードディスク装置 (H D D) の利用、画像データの圧縮および伸張などをおこなう。

【 0 0 8 5 】

ここで、ハードディスク装置に蓄積される画像データファイルとして必要な情報を管理するために必要な機能としては、（１）ファイルアクセス（生成／削除／オープン／クローズ）機能（排他処理を含む）、（２）ファイル名称／ＩＤ管理（ファイル／ユーザ）／パスワード管理／蓄積時刻管理／ページ数／データフォーマット（圧縮方式など）／アクセス制限／作成アプリ／印刷条件管理などの各種ファイル属性管理（物理的なページ単位の画像データのファイルとしての管理）、（３）ファイル単位およびページ単位での結合／挿入／切断機能、（４）ファイルソート機能（蓄積時刻順／ユーザＩＤ順など）、（５）全ファイル情報の通知（表示／検索用）、（６）リカバリ機能（破損ファイルのファイル／ページ破棄）、（７）ファイルの自動削除機能などがある。

【 0 0 8 6 】

また、ＲＡＭなどのメモリへ画像データを保持しアクセスするための機能としては、（１）アプリケーション 3 4 0 からのファイルおよびページ／バンド属性情報を取得する機能、（２）アプリケーション 3 4 0 からの画像データ領域の確保、解放、リード（Read）、ライト（Write）機能などがある。

【 0 0 8 7 】

ＯＣＳ 3 2 6 は、オペレータと本体制御間の情報伝達手段となる操作パネルを制御するモジュールであり、オペレータのキー操作イベントを本体制御に通知する処理、各アプリがＧＵＩを構築するためのライブラリ関数を提供する処理、構築されたＧＵＩ情報をアプリ別に管理する処理、操作パネル上への表示反映処理などをおこなう。

【 0 0 8 8 】

このＯＣＳ 3 2 6 は、（１）ＧＵＩ構築のためのライブラリの提供機能、（２）操作部ハードウェア資源管理機能、（３）ＶＲＡＭ描画／ＬＣＤ表示機能（ハードウェア表示、表示アプリ切替、表示言語切替、ウインドウ暗色表示、メッセージ／アイコンリンク表示、メッセージの連結表示）、（４）ハードキー入力検出機能、（５）タッチパネルキー入力検出機能、（６）ＬＥＤ出力機能、（７）ブザー出力機能などを有する。

【 0 0 8 9 】

FCS327は、システムコントローラの各アプリ層からPSTN/ISDN網を使ったファクシミリ送受信、BKM（バックアップSRAM）で管理されている各種ファクシミリデータの登録/引用、ファクシミリ読み取り、ファクシミリ受信印刷、融合送受信をおこなうためのAPIを提供するものである。

【0090】

具体的には、このFCS327は、（１）アプリ層から送信依頼されたドキュメントをPSTN/ISDN網を使ってファクシミリ受信機に送信をおこなう送信機能、（２）PSTN/ISDN網から受信したファクシミリ受信画面、各種レポート類を各アプリ層に転送、印刷をおこなう受信機能、（３）ファックスボードに記憶されている電話帳、グループ情報などのファクシミリ管理項目の引用や登録をおこなう電話帳引用・登録機能、（４）ファックスボードに搭載されているBKMに記憶されている送受信結果履歴情報などを必要としているアプリに通知するファックスログ通知機能、（５）ファックスボードの状態変化があったときにFCSに登録してあるアプリに変化のあったイベントを通知するイベント通知機能などを有する。

【0091】

NCS328は、ネットワークI/Oを必要とするアプリケーションに対して共通に利用できるサービスを提供するためのモジュール群であり、ネットワーク側から各プロトコルによって受信したデータを各アプリケーションに振り分けたり、アプリケーションからデータをネットワーク側に送信する際の仲介をおこなう。具体的には、ftpd、httpd、lpd、snmpd、telnetd、smtpdなどのサーバデーモンや、同プロトコルのクライアント機能などを有する。

【0092】

アプリサービス329は、プラットフォーム320を形成する共通サービスの一つであるが、上記共通システムサービス330を形成するECS324、MCS325、OCS326、FCS327、NCS328、SRM323およびSCS322とは異なり、アプリケーション340側に立ったサービスを提供するものである。

【0093】

言い換えると、このアプリサービス 3 2 9 は、アプリケーション 3 4 0 と共通システムサービス 3 3 0 との間に介在し、両者の間の橋渡しを担う役割を果たしている。

【 0 0 9 4 】

具体的には、このアプリサービス 3 2 9 は、コピーアプリ 3 1 2、ファックスアプリ 3 1 3、スキャナアプリ 3 1 4 などが、本来おこなうべきジョブの生成やデータ通信の機能を一括して代行する。このため、コピーアプリ 3 1 2、ファックスアプリ 3 1 3、スキャナアプリ 3 1 4 などは、画面やキー操作を対象とすれば足りるので、アプリの開発効率が向上する。

【 0 0 9 5 】

アプリケーション 3 4 0 は、ページ記述言語 (P D L)、P C L およびポストスクリプト (P S) を有するプリンタ用のアプリケーションであるプリンタアプリ 3 1 1 と、コピー用アプリケーションであるコピーアプリ 3 1 2 と、ファクシミリ用アプリケーションであるファックスアプリ 3 1 3 と、スキャナ用アプリケーションであるスキャナアプリ 3 1 4 と、ネットファイル用アプリケーションであるネットファイルアプリ 3 1 5 と、工程検査用アプリケーションである工程検査アプリ 3 1 6 とを有する。

【 0 0 9 6 】

各アプリケーション 3 1 1 ~ 3 1 6 は、プラットフォーム 3 2 0 上の各プロセスを利用して動作実行し得るため、画面表示制御プログラムがその主体となる。特に、アプリサービス 3 2 9 がプラットフォーム 3 2 0 上に設けられているので、ジョブの生成やデータ通信の機能を設ける必要がない。

【 0 0 9 7 】

次に、図 3 に示したコピーアプリ 3 1 2 を用いたコピー動作、プリンタアプリ 3 1 1 を用いたプリント動作、スキャナアプリ 3 1 4 を用いたスキャナ動作についてさらに具体的に説明する。

【 0 0 9 8 】

図 4 は、図 3 に示したコピーアプリ 3 1 2 を用いたコピー動作を説明するための説明図である。同図に示すように、コピーアプリ 3 1 2 はコピー画面・キー操

作モジュール312aを有し、オペパネからコピー条件が指定され、スタートキーが押下されると、コピー画面・キー操作モジュール312aがアプリサービス329のアプリジョブ生成モジュール329aに対してコピー条件を転送する（ステップS401）。なお、このコピー条件には、紙サイズ、部数、両面、ソート、ステープルなどがある。

【0099】

その後、アプリジョブ生成モジュール329aは、ECS324のAPIを用いてエンジンジョブ実行制御モジュール324aに対してエンジンジョブ生成関数を呼び出し、ジョブモードの設定をおこなう。なお、かかるジョブモードとは、スキャナ、プロッタ、フィニッシャなどを動作させるために必要なパラメータ群であり、上記コピー条件から生成される。さらに、アプリジョブ生成モジュール329aは、ECS324のAPIを用いてエンジンジョブ実行制御モジュール324aに対してジョブ実行開始関数を呼び出し、ジョブ実行を指示する（ステップS402）。

【0100】

エンジンジョブ実行制御モジュール324aは、MCS325のAPIを用いて画像メモリハンドリングモジュール325aに対して画像メモリ確保関数を呼び出し、画像メモリの確保を指示する（ステップS403）。

【0101】

画像メモリハンドリングモジュール325aは、SRM323のメモリ資源管理モジュール323bに対してメモリ取得関数を呼び出しメモリを取得する（ステップS404）。エンジンジョブ実行制御モジュール324aは、SRM323のエンジン資源管理モジュールに対して資源取得関数を呼び出し、スキャナおよびプロッタの動作を開始し、コピージョブを実行する。

【0102】

次に、図3に示したプリンタアプリ311を用いたプリント動作についてさらに具体的に説明する。図5は、図3に示したプリンタアプリ311を用いたプリント動作を説明するための説明図である。同図に示すように、プリンタアプリ311は、RIP処理モジュール311aと、プリンタ画面・キー操作モジュール

311bとを有する。

【0103】

PCなどのホストからセントロI/F、USB I/F、ネットワークI/Fなどを経由してSRM323のホストI/O資源管理モジュール323dに印刷データコマンドが入力されると(ステップS501)、このホストI/O資源管理モジュール323dは、印刷データをNC S328のホスト通信I/F制御モジュール328aに転送する。ここで、このホスト通信I/F制御モジュール328aは、入力された印刷データを解析して送り先アプリケーションを判定する。ホスト通信I/F制御モジュール328aは、複数の通信プロトコルまたはホストI/Fからデータを受け取り、送り先を調停する(ステップS502)。

【0104】

印刷データが、アプリサービス329内のアプリデータ通信モジュール329bに転送されると(ステップS503)、さらにアプリジョブ生成モジュール329aに入力され、新たなプリントジョブが生成される(ステップS504)。

【0105】

アプリジョブ生成モジュール329aは、印刷データの言語種類に応じてプリンタアプリ311のRIP処理モジュール311aにデータを転送し(ステップS505)、このRIP処理モジュール311aは、印刷データの画像展開をおこなった後に、アプリジョブ生成モジュール329aに戻される(ステップS506)。

【0106】

そして、このアプリジョブ生成モジュール329aで生成された画像データは、MCS325の画像メモリハンドリングモジュール325aに出力される(ステップS507)。画像メモリには複数のアプリからの要求が発生するため、メモリ資源の調停をおこなうSRM323のメモリ資源管理モジュール323bに対してメモリ確保要求を発行し、取得した後に展開された画像データがメモリ上に書き込まれる(ステップS508)。

【0107】

画像データの印刷準備が完了すると、アプリジョブ生成モジュール329aが

E C S 3 2 4 の A P I を用いてエンジンジョブ実行制御モジュール 3 2 4 a に対してエンジンジョブ生成関数を呼び出し、ジョブモード設定をおこなった後に、ジョブ開始関数を呼び出し、ジョブ実行を指示する（ステップ S 5 0 9）。

【 0 1 0 8 】

エンジンジョブ実行制御モジュール 3 2 4 a は、S R M 3 2 3 のエンジン資源管理モジュール 3 2 3 a に対してエンジン資源取得関数を呼び出し、プロッタの動作を開始し、プリントジョブを実行する（ステップ S 5 1 0）。

【 0 1 0 9 】

次に、図 3 に示したスキャナアプリ 3 1 4 を用いたスキャナ動作についてさらに具体的に説明する。図 6 は、図 3 に示したスキャナアプリ 3 1 4 を用いたスキャナ動作を説明するための説明図である。同図に示すように、スキャナアプリ 3 1 4 は、スキャナ画面・キー操作モジュール 3 1 4 a を有する。

【 0 1 1 0 】

オペパネからスキャナアプリ 3 1 4 を選択するとともにスキャン条件が入力され、スタートキーが押下されると、スキャナ画面・キー操作モジュール 3 1 4 a がアプリサービス 3 2 9 のアプリジョブ生成モジュール 3 2 9 a に対してスキャナ条件を転送すると（ステップ S 6 0 1）、アプリジョブ生成モジュール 3 2 9 a は、要求された画像サイズにしたがってスキャンに必要なメモリを確保するために、M C S 3 2 5 の画像メモリハンドリングモジュール 3 2 5 a が、メモリ資源の調停をおこなう S R M 3 2 3 のメモリ資源管理モジュール 3 2 3 b に対してメモリ確保要求を発行し、メモリが取得された後に画像データがメモリ上に書き込まれる（ステップ S 6 0 2 ～ S 6 0 3）。

【 0 1 1 1 】

画像データのスキャン準備が完了すると、アプリジョブ生成モジュール 3 2 9 a が、E C S 3 2 4 のエンジンジョブ実行制御モジュール 3 2 4 a に対してエンジンジョブ生成関数を呼び出し、ジョブモード設定をおこなった後にジョブ開始関数を呼び出し、スキャンジョブ実行を指示する（ステップ S 6 0 4）。

【 0 1 1 2 】

エンジンジョブ実行制御モジュール 3 2 4 a は、S R M 3 2 3 のエンジン資源

管理モジュール 3 2 3 a に対してエンジン資源取得関数を呼び出し、スキャナの動作を開始し、スキャナジョブを実行する（ステップ S 6 0 5）。

【 0 1 1 3 】

アプリジョブ生成モジュール 3 2 9 a が、E C S 3 2 4 からスキャン完了のイベントを受け取ると、読み取り画像をネットワーク他のホスト I / O 資源を利用して外部の P C に転送をおこなうため、アプリデータ通信モジュール 3 2 9 b が N C S 3 2 8 のホスト通信 I / F 制御モジュール 3 2 8 a に対して U R L などの転送先 P C のアドレスおよびスキャンした画像データ（またはメモリ上のアドレス）を送る（ステップ S 6 0 6 ~ S 6 0 7）。ここでは、f t p や h t t p などのファイル転送をおこなうプロトコル機能を使って画像データ通信を制御することとする。

【 0 1 1 4 】

ホスト通信 I / F 制御モジュール 3 2 8 a は、ネットワーク、IEEE1394、U S B、S C S I などのホスト I / O 資源を確保するために、S R M 3 2 3 のホスト I / O 資源管理モジュール 3 2 3 d の資源確保関数を呼び出す（ステップ S 6 0 8）。ホスト I / O 資源管理モジュール 3 2 3 d は、要求されたホスト I / O 資源が利用可能となった時点で画像データ通信をおこなう（ステップ S 6 0 9）。

【 0 1 1 5 】

次に、コピーアプリ 3 1 2、プリンタアプリ 3 1 1、スキャナアプリ 3 1 4 の 3 つのアプリケーションの起動時処理と、それぞれのアプリ画面を生成し表示する処理と、アプリ画面選択キーが押下されたときの処理について説明する。図 7 は、コピーアプリ 3 1 2、プリンタアプリ 3 1 1、スキャナアプリ 3 1 4 の 3 つのアプリケーションの起動時処理と、それぞれのアプリ画面を生成し表示する処理と、アプリ画面選択キーが押下されたときの処理を説明するための説明図である。

【 0 1 1 6 】

アプリケーションの起動時処理； 電源オンやシステムリセット時には少なくとも S C S 3 2 2 と O C S 3 2 6 が起動された後にアプリケーションが起動される。コピーアプリ 3 1 2、プリンタアプリ 3 1 1 およびスキャナアプリ 3 1 4 は

、SCS 3 2 2 のアプリ登録管理モジュール 3 2 2 b に対して起動された旨を登録する（ステップ S 7 0 1 ～ S 7 0 3 ）。

【 0 1 1 7 】

画面生成処理； OCS 3 2 6 では、複数のアプリケーションがそれぞれ仮想的な画面メモリを複数持つことができる図面管理機能を有する。このため、コピーアプリ 3 1 2、プリンタアプリ 3 1 1 およびスキャナアプリ 3 1 4 は、それぞれウィンドウ制御ライブラリモジュール 3 2 6 a により画面生成を実行することができる（ステップ S 7 0 4 ～ S 7 0 8 ）。

【 0 1 1 8 】

表示処理； 複数の画面メモリのうち一つが表示パネル上に描画される。また、複数の画面メモリの内容を合成した画面が表示されるようにしても良い。たとえば、コピー動作中にファックス受信した場合には、アプリ共通の画面領域にファックス受信中表示する旨を表示することができる。

【 0 1 1 9 】

画面切換処理； 表示パネルに描画される画面メモリは、SCS 3 2 2 のシステム画面表示制御モジュールによって切り換えられる。たとえば、操作パネル上のアプリ選択キーが押下された場合には、ステップ S 7 0 9 ～ S 7 1 4 にしたがって選択されたアプリ画面が描画される。また、SCS 3 2 2 には、機器内部ハードウェアやエンジンの状態情報を保持する機器状態管理モジュール 3 2 2 c があるため、ジャムや紙なしなどのエラーや異常時の表示画面などを切り換えることができる。

【 0 1 2 0 】

次に、ファックスアプリ 3 1 3 またはプリンタアプリ 3 1 1 を用いたファックス送信動作について説明する。図 8 は、ファックスアプリ 3 1 3 またはプリンタアプリ 3 1 1 を用いたファックス送信動作を説明するための説明図である。

【 0 1 2 1 】

同図に示すように、ファックスアプリ 3 1 3 を用いたファックス送信動作については、ファックス操作画面において送信宛先番号が入力され、スタートキーが押下されると、ファックス画面・キー操作モジュール 3 1 3 a がアプリサービス

3 2 9 のアプリジョブ生成モジュール 3 2 9 a に対してジョブ生成関数を呼び出し（ステップ S 8 0 1）、このファックスジョブ生成モジュール 3 1 3 b が、F C S 3 2 7 のファックスジョブ実行制御モジュール 3 2 7 a に対して送信開始関数を呼び出す（ステップ S 8 0 2）。

【 0 1 2 2 】

すると、このファックスジョブ実行制御モジュール 3 2 7 a は、E C S 3 2 4 の A P I を用いてエンジンジョブ実行制御モジュール 3 2 4 a に対してエンジンジョブ生成関数を呼び出し、ジョブモードの設定をおこなう（ステップ S 8 0 3）。このエンジンジョブ実行制御モジュール 3 2 4 a は、M C S 3 2 5 の A P I を用いて画像メモリハンドリングモジュール 3 2 5 a に対して画像メモリ確保関数を呼び出し、画像メモリの確保を指示する（ステップ S 8 0 4）。

【 0 1 2 3 】

画像メモリハンドリングモジュール 3 2 5 a は、S R M 3 2 3 に対してメモリ取得関数を呼び出し、ファックス原稿のスキャンに必要なメモリを取得し（ステップ S 8 0 5）、メモリが確保されると、エンジンジョブ実行制御モジュール 3 2 4 a は、S R M 3 2 3 のエンジン資源管理モジュール 3 2 3 a に対してスキャナ資源の確保を要求する関数を呼び、確保できた後にスキャナ動作を開始する（ステップ S 8 0 6）。

【 0 1 2 4 】

スキャナから原稿画像データがメモリ上に保持されると、E C S 3 2 4 から F C S 3 2 7 に対してスキャン完了イベントが通知され、ファクシミリジョブ実行制御モジュール 3 2 7 a が、ファックスボード資源管理モジュール 3 2 3 g の送信開始関数を呼び出すと、P S T N、I S D N 回線などを使ってファックス送信手順が開始される（ステップ S 8 0 7 ～ S 8 0 8）。

【 0 1 2 5 】

次に、プリンタアプリ 3 1 1 を用いたファックス送信動作については、通常のプリント動作と同様に、印刷データがホスト I / O 資源管理モジュール 3 2 3 d に入力され、その際に送信宛先番号などのファクシミリ送信に必要な情報を含むコマンド情報が付加される（ステップ S 8 0 9）。

【0126】

ファックス送信用の印刷データが、NCS328のホスト通信I/F制御モジュールからアプリサービス329のアプリデータ通信モジュール329bを経て、アプリジョブ生成モジュール329aに転送されると（ステップS810～S812）、新たなファックス送信用プリントジョブが生成される。

【0127】

そして、印刷データがRIP処理モジュール311aに転送され、画像データが生成されると、この画像データは、ファクシミリ送信に必要な情報とともに、FCS327のファックスジョブ実行制御モジュール327aに入力され（ステップS813～S815）、以後ファックス送信動作と同様の処理がなされる（ステップS807～S808）。

【0128】

なお、上記ステップS813～S814によるRIP処理をおこなうのではなく、PSTNやISDN回線などを使ってバイナリーデータの転送をおこなうプロトコル（BFTP；Binary File Transfer Protocol）によって印刷データを送信することもできる。

【0129】

また、ここでは説明の便宜上、送信動作のみを説明したが、たとえば、ステップS808、S807、S802、S803、S804、S805、S806の順に処理することにより、ファックス受信や印刷が可能となる。なお、BFTPを用いた印刷データの受信および印刷は、ステップS808、S807、S802、S815、S813、S814、S815、S803、S804、S805、S806の順に処理することで実現できる。

【0130】

次に、図1に示した複合機120のハードウェア構成について説明する。図9は、図1に示した複合機120のハードウェア構成を示す構成図である。同図に示すように、この複合機120は、CPU902、SDRAM903、フラッシュメモリ904およびHD905などをASIC901に接続したコントローラボード900と、オペレーションパネル910と、ファックスコントロールユニ

ット (FCU) 920 と、USB 930 と、IEEE1394 940 と、プリンタ 950 とからなる。

【0131】

そして、オペレーションパネル 910 は ASIC 901 に直接接続され、FCU 920、USB 930、IEEE1394 940 およびプリンタ 950 は、PCI バスを介して ASIC 901 に接続されている。

【0132】

図 10 は、図 9 に示した ASIC 901 の細部構成を示すブロック図である。同図に示すように、この ASIC 901 は、CPU インターフェース (CPU I/F)、SDRAM インターフェース (SDRAM I/F)、ローカルバスインターフェース (Local BUS I/F)、PCI インターフェース (PCI I/F)、1284、MAC (Media Access Controllor)、I/O、OPE インターフェース (OPE I/F)、HD インターフェース (HD I/F)、Comp/de-comp、Rotate によって形成されている。

【0133】

かかるハードウェア構成を採用することにより、デバイスの共有化による低コスト設計が可能となるとともに、アプリ間融合が容易となる。また、低速機から高速機までスケラブルなアーキテクチャーとなり、各アプリで使用するハード／ソフトが共通化され、開発効率を向上させることができる。また、新規機能に対する対応が容易となる。

【0134】

上述してきたように、本実施の形態では、各アプリケーションの共通部分をアプリサービス 121 b および共通システムサービス 121 a として括りだし、このアプリサービス 121 b、共通システムサービス 121 a および汎用 OS 111 によりプラットフォーム 122 を形成し、このプラットフォーム 122 上に、プリンタアプリ 123、コピーアプリ 124 および各種アプリ 125 を搭載するよう構成したので、各アプリケーションの開発労力軽減並びにアプリケーションのスリム化を図ることができる。

【0135】

【発明の効果】

以上説明したように、請求項 1 の発明によれば、プリンタ、コピー並びにファクシミリなどの各サービスにかかる画面表示およびキー操作制御をおこなう複数のアプリケーションのいずれかを起動し、複数のアプリケーションとハードウェア資源との間に介在するプラットフォームが、各アプリケーションに対応するサービスを実行する際に必要となる共通的なサービス処理をおこなうよう構成したので、各サービスのアプリケーションを作成する場合には、画面表示制御やキー操作の部分を作成すれば足りることになり、プリンタ、コピーおよびファクシミリ装置などに対応する各ソフトウェア（アプリケーション）を効率良く開発することが可能な画像形成装置が得られるという効果を奏する。

【0 1 3 6】

また、請求項 2 の発明によれば、少なくともアプリケーションに対応するジョブの生成をおこなった後に、生成されたジョブごとに各アプリケーションに対応するサービスに共通した処理をおこなうよう構成したので、ジョブの生成に至るまでを共通処理化することができ、アプリケーションの作成が一層簡素化することが可能な画像形成装置が得られるという効果を奏する。

【0 1 3 7】

また、請求項 3 の発明によれば、アプリサービスとして、各アプリケーションに対応するジョブを生成するとともに、各アプリケーションにかかるデータ通信をおこなうよう構成したので、本来アプリケーションがおこなうべきジョブの生成およびデータ通信を共通処理化することが可能な画像形成装置が得られるという効果を奏する。

【0 1 3 8】

また、請求項 4 の発明によれば、表示部上に表示する表示内容を制御する表示制御を共通処理の一部とするよう構成したので、表示内容の制御を共通処理化することが可能な画像形成装置が得られるという効果を奏する。

【0 1 3 9】

また、請求項 5 の発明によれば、所定のネットワークを介して通信をおこなう際の各種プロトコル制御をおこなうネットワーク制御を共通処理の一部とするよ

う構成したので、ネットワーク制御を共通処理化することが可能な画像形成装置が得られるという効果を奏する。

【 0 1 4 0 】

また、請求項 6 の発明によれば、ファクシミリ通信をおこなう際のコマンドデータの転送制御をおこなうファクシミリ制御を共通処理の一部とするよう構成したので、ファクシミリ制御を共通処理化することが可能な画像形成装置が得られるという効果を奏する。

【 0 1 4 1 】

また、請求項 7 の発明によれば、撮像部による画像の読み込み制御並びに印刷部による印刷制御などをおこなうエンジン制御を共通処理の一部とするよう構成したので、エンジン制御を共通処理化することが可能な画像形成装置が得られるという効果を奏する。

【 0 1 4 2 】

また、請求項 8 の発明によれば、画像メモリの取得または開放若しくは画像データの圧縮または伸張をおこなうメモリ制御を共通処理の一部とするよう構成したので、メモリ制御を共通処理化することが可能な画像形成装置が得られるという効果を奏する。

【 0 1 4 3 】

また、請求項 9 の発明によれば、ハードウェア資源の調停、利用者の制限並びにログ保存などのシステム制御を共通処理の一部とするよう構成したので、システム制御を共通処理化することが可能な画像形成装置が得られるという効果を奏する。

【 0 1 4 4 】

また、請求項 1 0 の発明によれば、ハードウェア資源を管理する資源管理を共通処理の一部とするよう構成したので、資源管理を共通処理化することが可能な画像形成装置が得られるという効果を奏する。

【 0 1 4 5 】

また、請求項 1 1 の発明によれば、汎用オペレーティングシステムを共通処理内に設け、この汎用オペレーティングシステムを介して表示制御、ネットワーク

制御、ファクシミリ制御、エンジン制御、メモリ制御、システム制御または資源管理が、ハードウェア資源を制御するよう構成したので、汎用オペレーティングシステム下でのプロセス実行により表示制御、ネットワーク制御、ファクシミリ制御、エンジン制御、メモリ制御、システム制御または資源管理を実現することが可能な画像形成装置が得られるという効果を奏する。

【 0 1 4 6 】

また、請求項 1 2 の発明によれば、プリンタ、コピー並びにファクシミリなどの各サービスにかかる画面表示およびキー操作制御をおこなう複数のアプリケーションのいずれかを起動し、複数のアプリケーションとハードウェア資源との間に介在するプラットフォームが、各アプリケーションに対応するサービスを実行する際に必要となる共通的なサービス処理をおこなうよう構成したので、各サービスのアプリケーションを作成する場合には、画面表示制御やキー操作の部分を作成すれば足りることになり、プリンタ、コピーおよびファクシミリ装置などに対応する各ソフトウェア（アプリケーション）を効率良く開発することが可能な画像形成方法が得られるという効果を奏する。

【 0 1 4 7 】

また、請求項 1 3 の発明によれば、少なくともアプリケーションに対応するジョブの生成をおこなった後に、生成されたジョブごとに各アプリケーションに対応するサービスに共通した処理をおこなうよう構成したので、ジョブの生成に至るまでを共通処理化することができ、アプリケーションの作成が一層簡素化することが可能な画像形成方法が得られるという効果を奏する。

【 0 1 4 8 】

また、請求項 1 4 の発明によれば、アプリサービスとして、各アプリケーションに対応するジョブを生成するとともに、各アプリケーションにかかるデータ通信をおこなうよう構成したので、本来アプリケーションがおこなうべきジョブの生成およびデータ通信を共通処理化することが可能な画像形成方法が得られるという効果を奏する。

【 0 1 4 9 】

また、請求項 1 5 の発明によれば、表示部上に表示する表示内容を制御する表

示制御を共通処理の一部とするよう構成したので、表示内容の制御を共通処理化することが可能な画像形成方法が得られるという効果を奏する。

【 0 1 5 0 】

また、請求項 1 6 の発明によれば、所定のネットワークを介して通信をおこなう際の各種プロトコル制御をおこなうネットワーク制御を共通処理の一部とするよう構成したので、ネットワーク制御を共通処理化することが可能な画像形成方法が得られるという効果を奏する。

【 0 1 5 1 】

また、請求項 1 7 の発明によれば、ファクシミリ通信をおこなう際のコマンドデータの転送制御をおこなうファクシミリ制御を共通処理の一部とするよう構成したので、ファクシミリ制御を共通処理化することが可能な画像形成方法が得られるという効果を奏する。

【 0 1 5 2 】

また、請求項 1 8 の発明によれば、撮像部による画像の読み込み制御並びに印刷部による印刷制御などをおこなうエンジン制御を共通処理の一部とするよう構成したので、エンジン制御を共通処理化することが可能な画像形成方法が得られるという効果を奏する。

【 0 1 5 3 】

また、請求項 1 9 の発明によれば、画像メモリの取得または開放若しくは画像データの圧縮または伸張をおこなうメモリ制御を共通処理の一部とするよう構成したので、メモリ制御を共通処理化することが可能な画像形成方法が得られるという効果を奏する。

【 0 1 5 4 】

また、請求項 2 0 の発明によれば、ハードウェア資源の調停、利用者の制限並びにログ保存などのシステム制御を共通処理の一部とするよう構成したので、システム制御を共通処理化することが可能な画像形成方法が得られるという効果を奏する。

【 0 1 5 5 】

また、請求項 2 1 の発明によれば、ハードウェア資源を管理する資源管理を共

通処理の一部とするよう構成したので、資源管理を共通処理化することが可能な画像形成方法が得られるという効果を奏する。

【 0 1 5 6 】

また、請求項 2 2 の発明によれば、汎用オペレーティングシステムを共通処理内に設け、この汎用オペレーティングシステムを介して表示制御、ネットワーク制御、ファクシミリ制御、エンジン制御、メモリ制御、システム制御または資源管理が、ハードウェア資源を制御するよう構成したので、汎用オペレーティングシステム下でのプロセス実行により表示制御、ネットワーク制御、ファクシミリ制御、エンジン制御、メモリ制御、システム制御または資源管理を実現することが可能な画像形成方法が得られるという効果を奏する。

【 0 1 5 7 】

また、請求項 2 3 の発明によれば、請求項 1 2 ～ 2 2 のいずれか一つに記載された方法をコンピュータに実行させるプログラムを記録したことで、そのプログラムを機械読み取り可能となり、これによって、請求項 1 2 ～ 2 2 のいずれか一つの動作をコンピュータによって実現することが可能な記録媒体が得られるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

この発明の実施の形態に係る複合機 の概念を説明するための説明図である。

【図 2】

図 1 に示したプラットフォームを説明するための説明図である。

【図 3】

図 1 に示した複合機 の具体的なソフトウェア構成を示す構成図である。

【図 4】

図 3 に示したコピーアプリを用いたコピー動作を説明するための説明図である。

【図 5】

図 3 に示したプリンタアプリを用いたプリント動作を説明するための説明図である。

【図 6】

図 3 に示したスキャナアプリを用いたスキャナ動作を説明するための説明図である。

【図 7】

コピーアプリ、プリンタアプリ、スキャナアプリの 3 つのアプリケーションの起動時処理と、それぞれのアプリ画面を生成し表示する処理と、アプリ画面選択キーが押下されたときの処理を説明するための説明図である。

【図 8】

ファックスアプリまたはプリンタアプリを用いたファックス送信動作を説明するための説明図である。

【図 9】

図 1 に示した複合機のハードウェア構成を示す構成図である。

【図 1 0】

図 9 に示した A S I C の細部構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

- 1 0 0 プリンタ
- 1 0 1 専用 O S
- 1 0 2 プリンタアプリ
- 1 1 0 複合機
- 1 1 1 汎用 O S
- 1 1 2 エンジン制御部
- 1 1 3 プリンタアプリ
- 1 1 4 コピーアプリ
- 1 1 5 各種アプリ
- 1 2 0 複合機
- 1 2 1 a 共通システムサービス
- 1 2 1 b アプリサービス
- 1 2 2 プラットホーム
- 1 2 3 プリンタアプリ

特 2 0 0 0 - 2 0 4 2 5 7

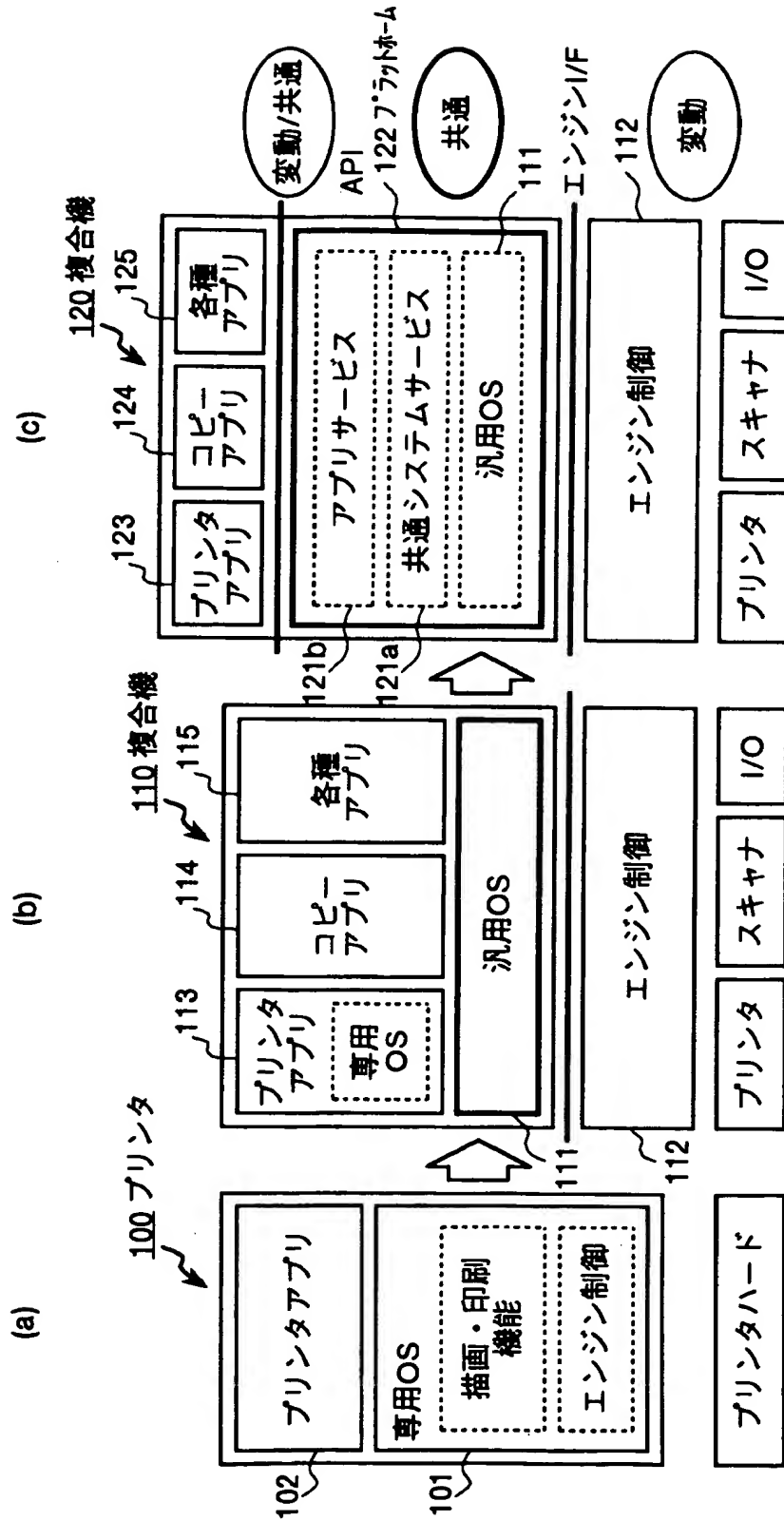
1 2 4 コピーアプリ

1 2 5 各種アプリ

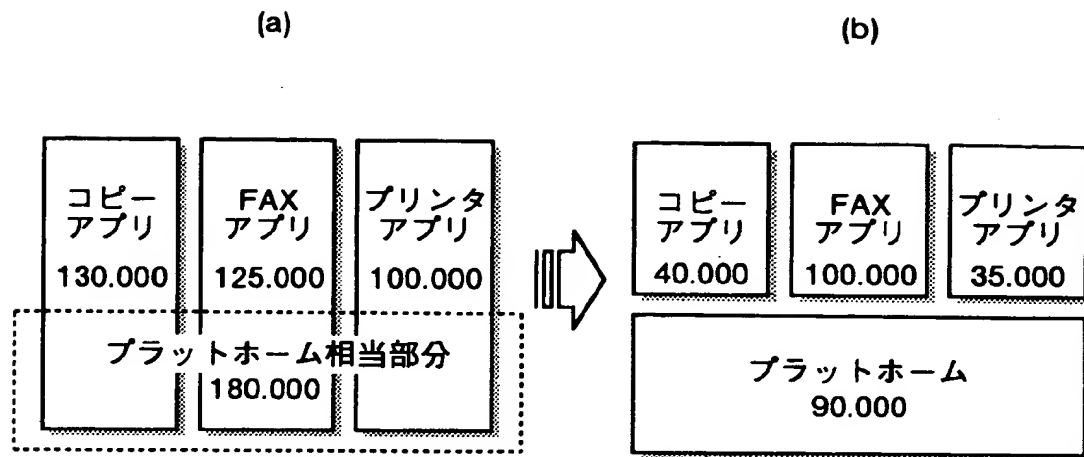
【書類名】

図面

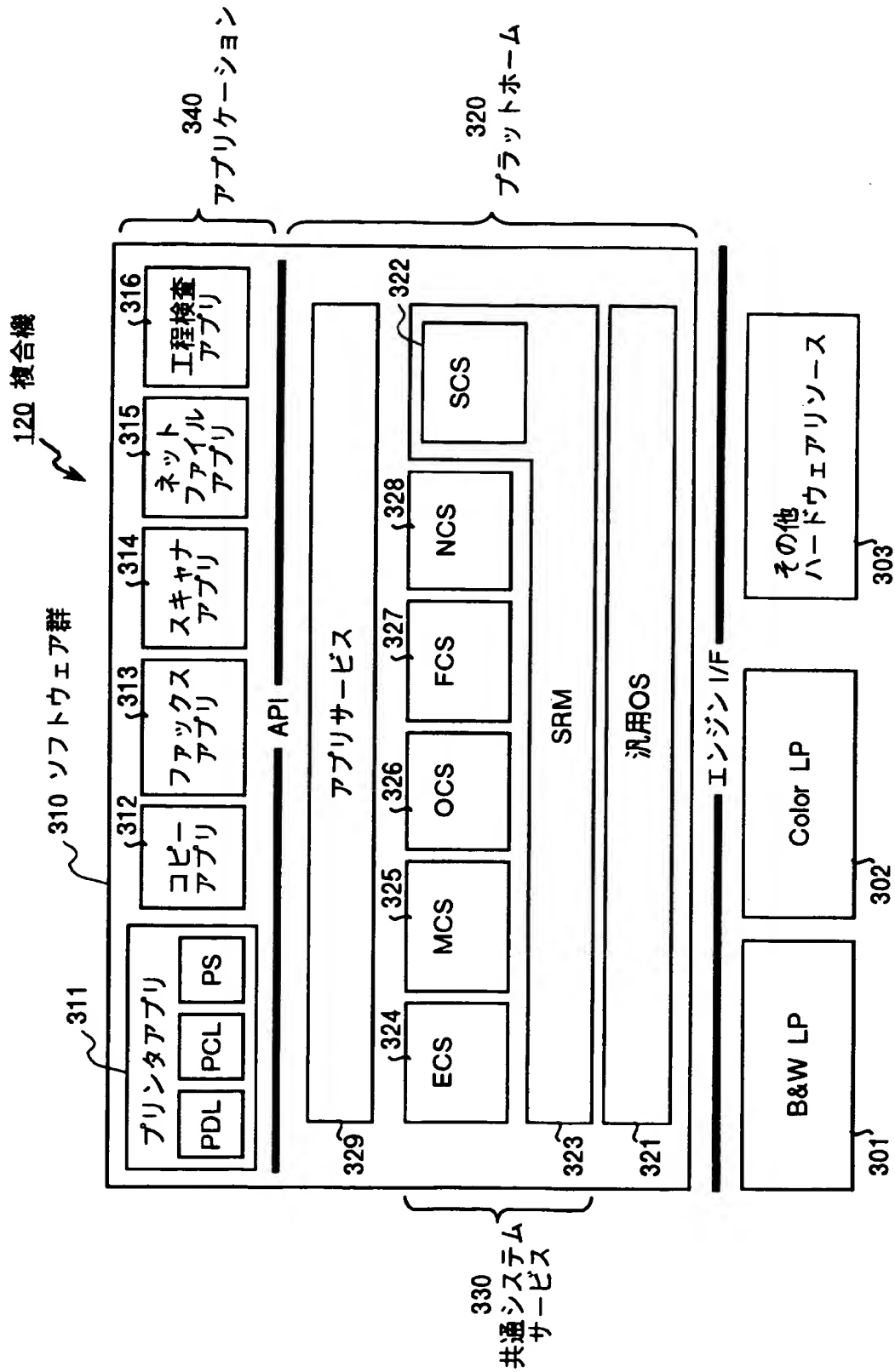
【図 1】



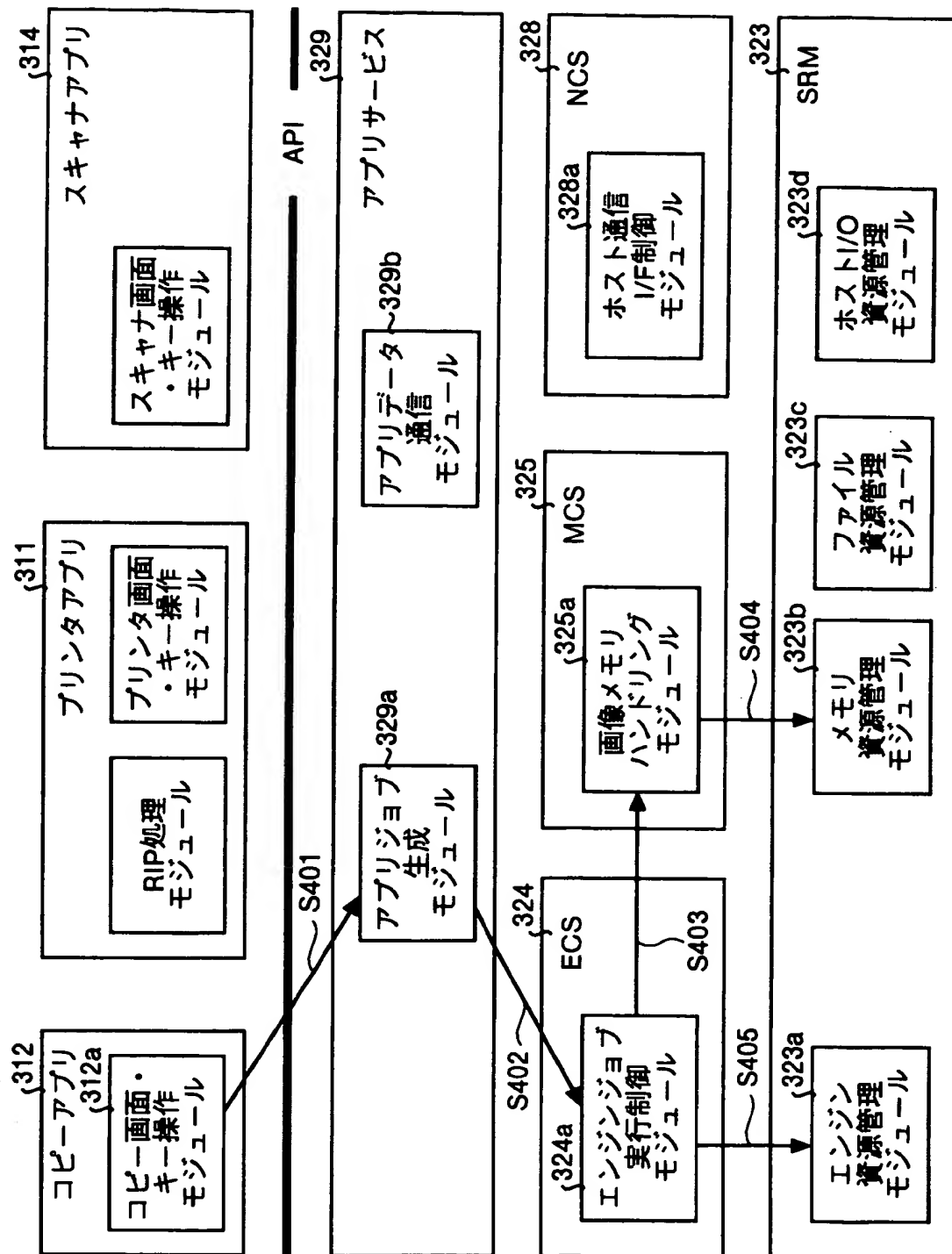
【図 2】



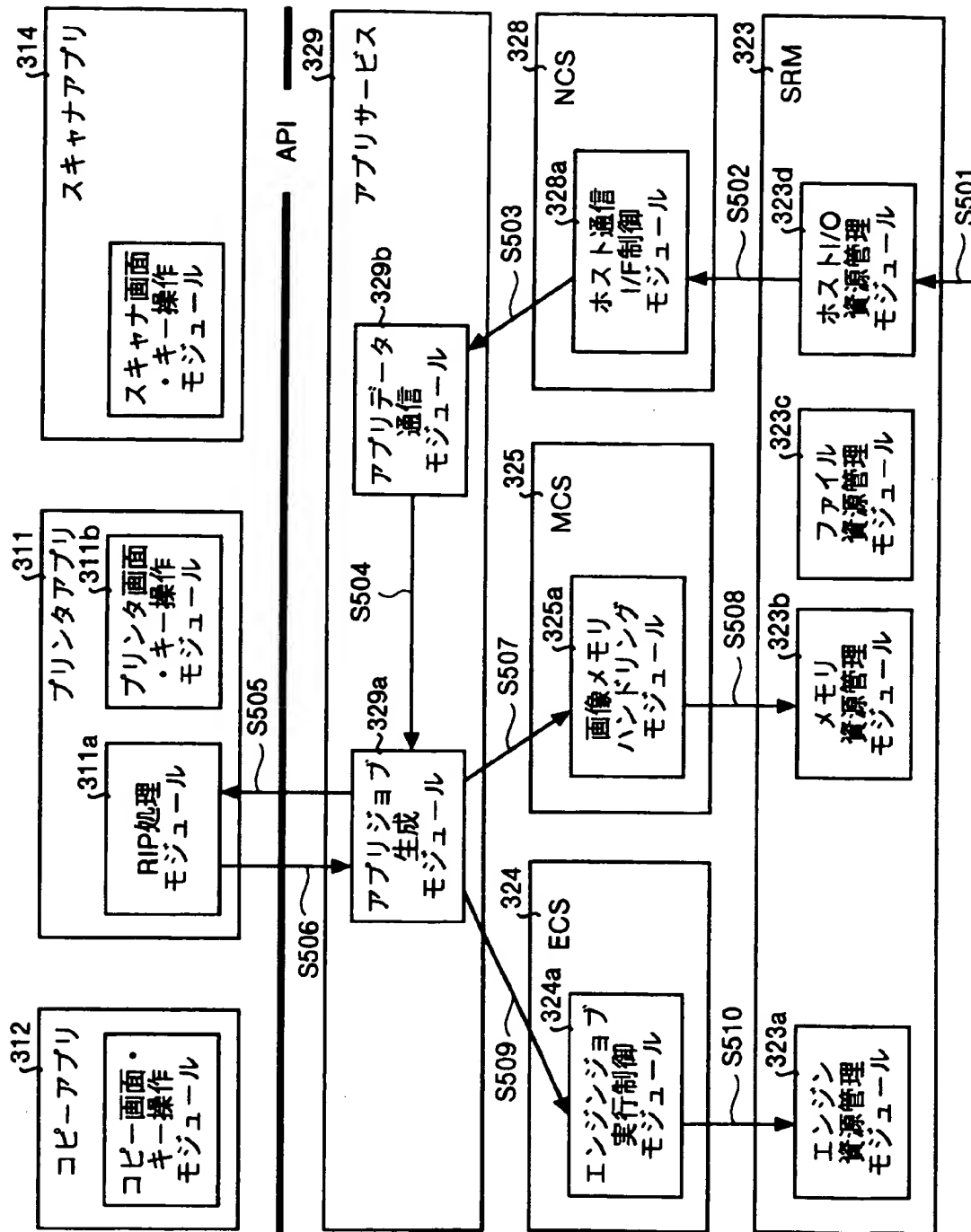
【図 3】



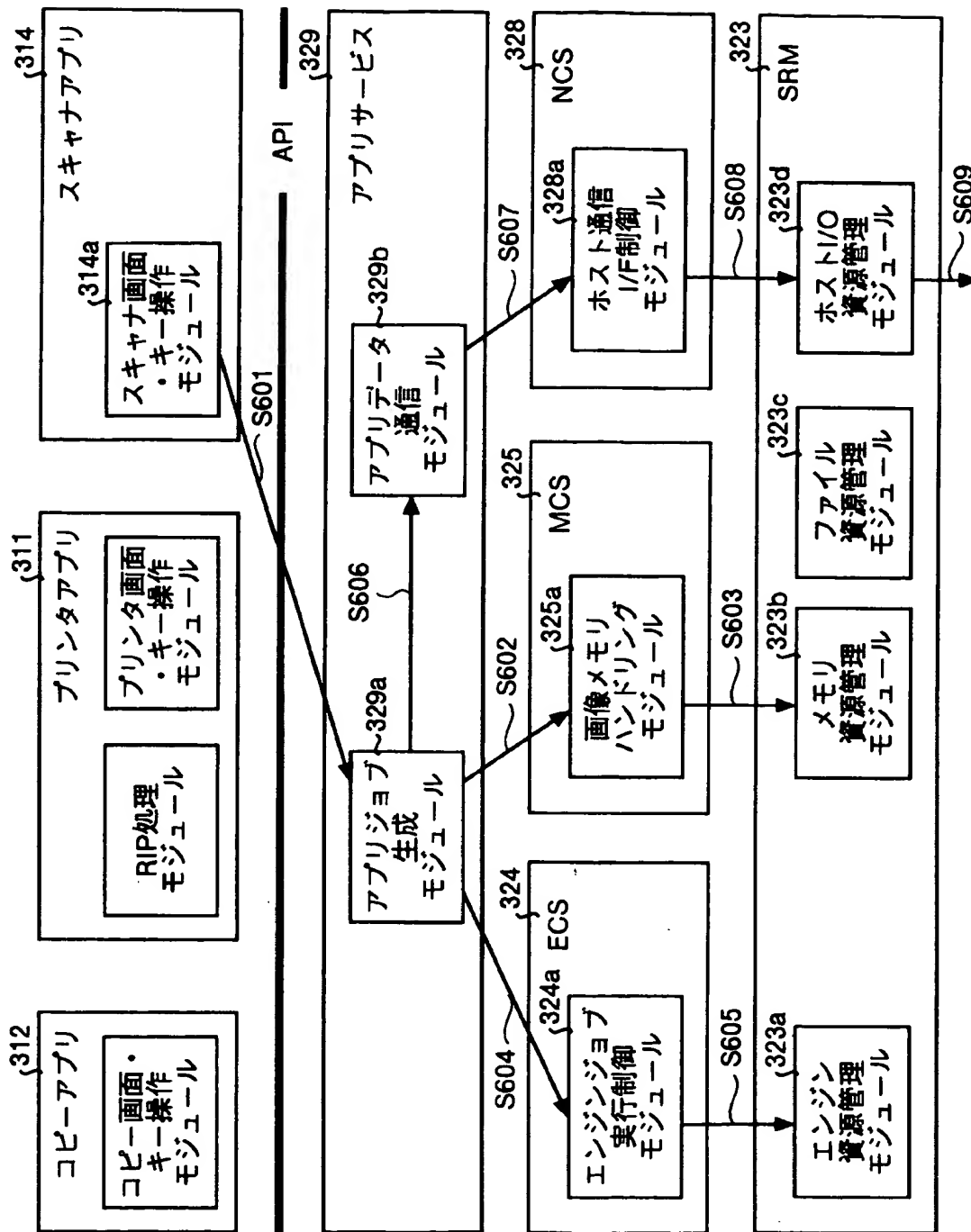
【図 4】



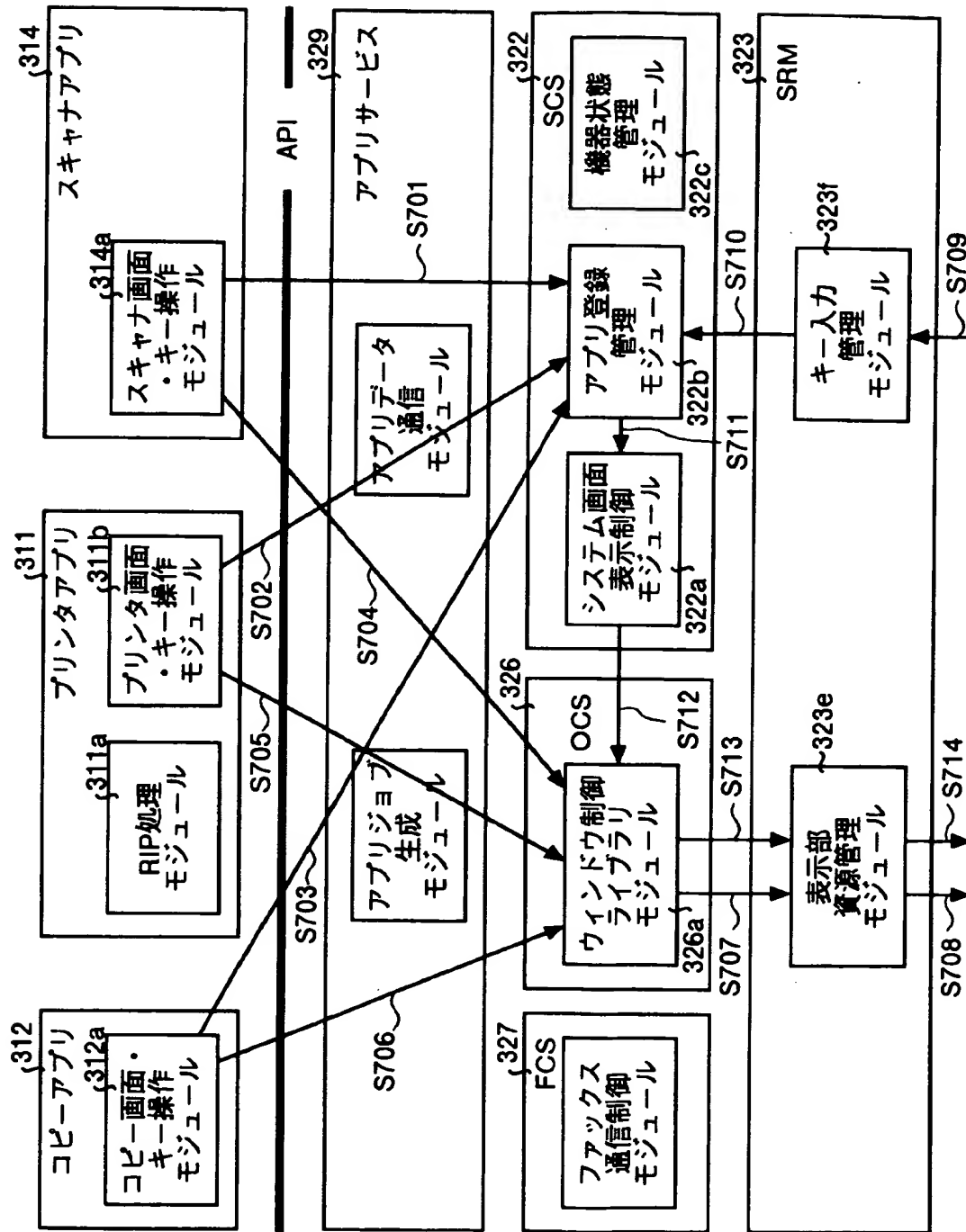
【図5】



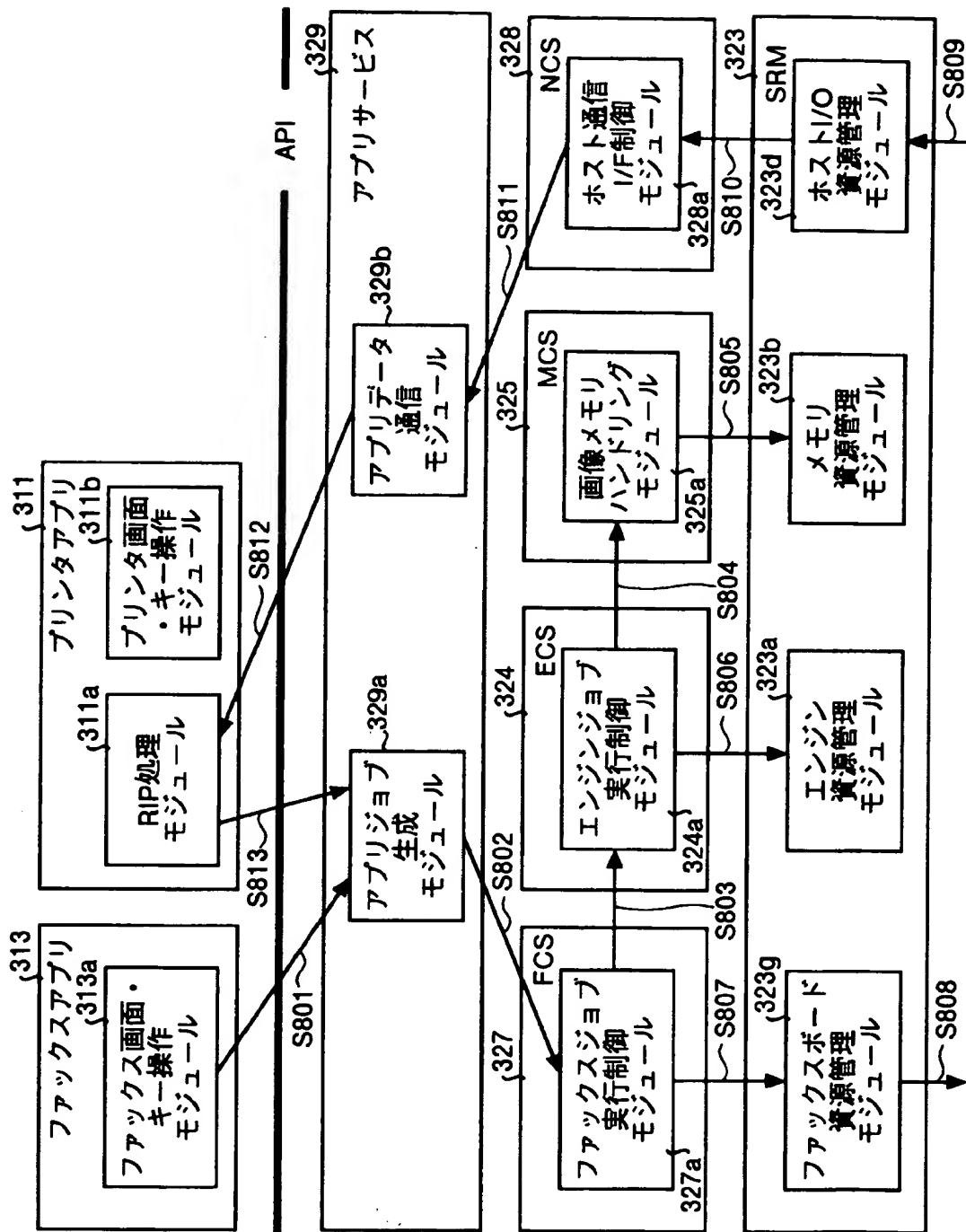
【図 6】



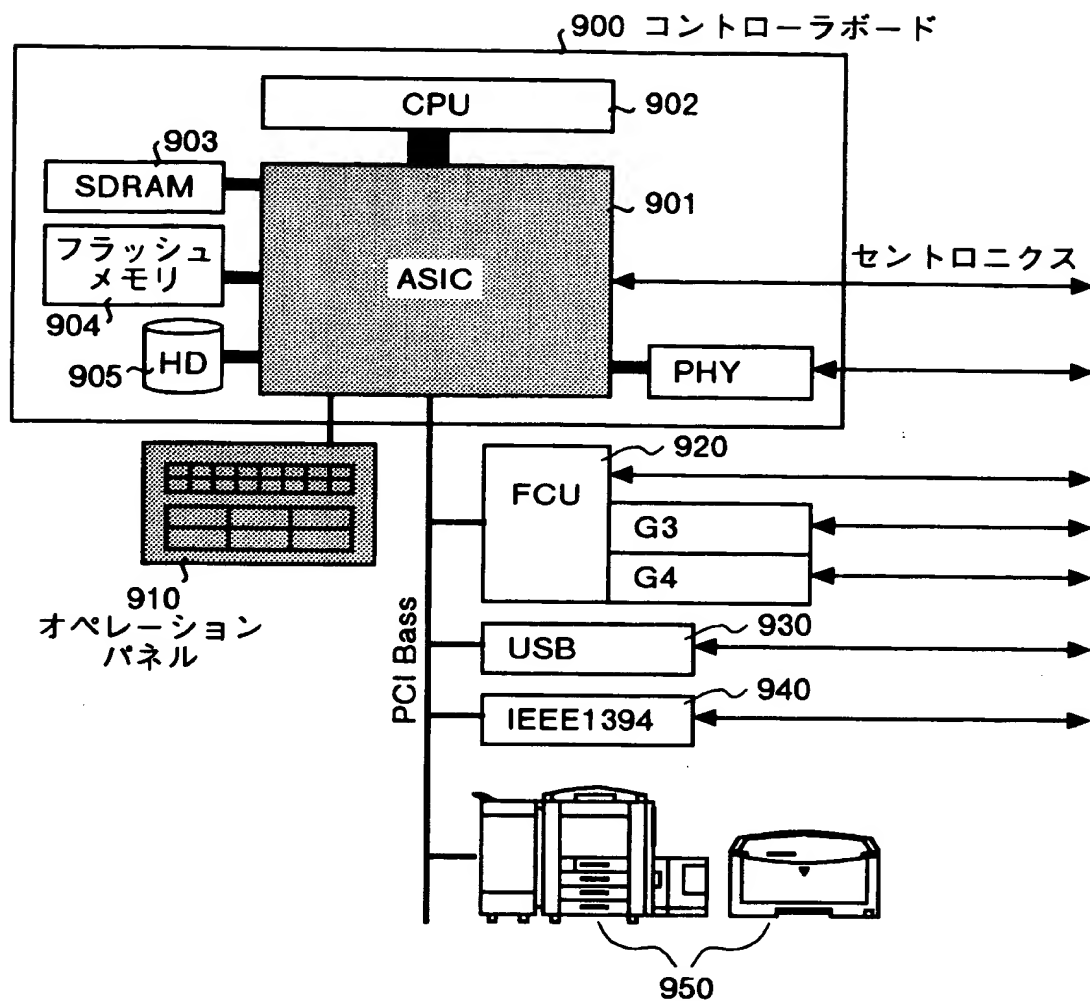
【図 7】



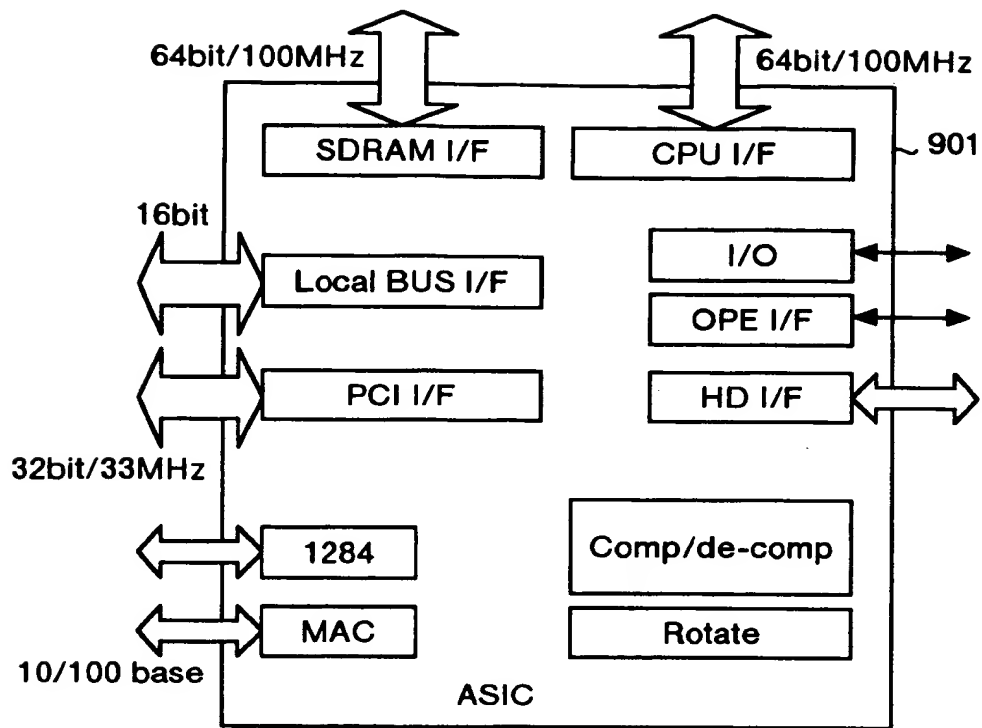
【図 8】



【図 9】



【図 10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 プリンタ、コピーおよびファクシミリ装置などに対応する各ソフトウェア（アプリケーション）を効率良く開発するとともに装置全体としての生産性を高めること。

【解決手段】 各アプリケーションの共通部分をアプリサービス 1 2 1 b および共通システムサービス 1 2 1 a として括りだし、このアプリサービス 1 2 1 b、共通システムサービス 1 2 1 a および汎用 OS 1 1 1 によってプラットフォーム 1 2 2 を形成し、該プラットフォーム 1 2 2 上にプリンタアプリ 1 2 3、コピーアプリ 1 2 4 および各種アプリ 1 2 5 を搭載する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006747]

1. 変更年月日 1990年 8月24日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都大田区中馬込1丁目3番6号

氏 名 株式会社リコー